

シロドシン錠「KMP」 シロドシンOD錠「KMP」を 服用される患者様へ

大切なお知らせ

このお薬($\alpha 1$ 遮断薬)は、
前立腺肥大症の治療で多く使われているお薬です。

このお薬を服用することによって、
射精時の精液量が減るなどの射精障害が起こることがあります。

! 主な副作用は?

- 射精時の精液量が少なくなる
- 立ち上がった時にふらつく
(ふらつき、めまい、立ちくらみ※)
- 下痢や軟便になる
- 口の中が渇く(口渇)
- 鼻が詰まる(鼻閉)

※高所作業や自動車の運転などの危険を伴う作業に従事される方は、主治医にご相談ください。



射精障害とは?

精管、精囊、膀胱頸部(膀胱出口)の収縮が抑えられるため、射精時の精液の量が減少したり、全く出なくなったりする現象です。勃起障害(ED)ではありません。また、健康に害を及ぼすものではありません。

! 射精障害が起こった時の注意は?

射精時の精液量減少以外に症状はありません。

休薬により回復します。ただし子供を望む場合や精液量の減少が気になる方は、主治医にご相談ください。

裏面も必ずお読みください ▶



株式会社 三和化学研究所

眼科を受診され、 目の手術を受けるご予約の患者さんへ

大切なお知らせ

！ 重要な注意事項

α 1遮断薬を服用している方が白内障などの手術を受けると、**術中虹彩緊張低下症候群 (IFIS)**と呼ばれる合併症をおこしやすくなると報告されています。

術中虹彩緊張低下症候群 (IFIS) とは？

α 1遮断薬を服用している方で、白内障手術中に起こる副作用です。虹彩が弛緩・膨張したり、瞳孔が小さくなって、手術がやりにくくなる現象です。



このお薬を服用している（または服用したことがある）方で白内障などの手術を検討する際には、**眼科の先生に服用している（服用したことがある）ことをお伝えください。**

連絡先（医療機関名）